

企業対象調査票-「機械」関連分野（問3-1）

2.機械

3. 工学系科目（「機械」関連分野）についてお聞きします

問3-1、3-2、3-3：この5年間で「学部卒業生」「修士修了者」が合計5人以下、「博士修了者」が合計2人以下の場合、該当する列は答えただけで結構です。

問3-1 貴部門は、新卒者として受け入れている機械関連分野出身者に対して、どのような知識や能力を期待されていますか。また、とくに不足していると感じることはありますか。「学部卒業生」「修士修了者」「博士修了者」ごとにそれぞれお答えください。（○はそれぞれ一つ）

※ 該当者にとくに不足していると感じる知識・能力があれば、「不足を感じる」欄の□にチェックをつけてください。

	学部 卒業生				修士 修了者				博士 修了者			
	非期待 している	どちら もない	期待 しない	不足 を感じる	非期待 している	どちら もない	期待 しない	不足 を感じる	非期待 している	どちら もない	期待 しない	不足 を感じる
● 工学系共通基礎科目												
➤ 基礎数学（1～4）												
1) 微積分の概念の理解と活用	1	2	3	4	5	□	1	2	3	4	5	□
2) 線形代数の概念の理解と応用	1	2	3	4	5	□	1	2	3	4	5	□
3) 常微分方程式に関する基本的な概念の理解と計算	1	2	3	4	5	□	1	2	3	4	5	□
4) 確率・統計の基本的な概念の理解と計算	1	2	3	4	5	□	1	2	3	4	5	□
➤ 専門指向型数学（5～12）												
5) ベクトル・スカラーの概念の理解と計算	1	2	3	4	5	□	1	2	3	4	5	□
6) 複素数、複素平面などの概念の理解と計算	1	2	3	4	5	□	1	2	3	4	5	□
7) 偏微分方程式の概念と方程式の表す様々な物理現象の理解	1	2	3	4	5	□	1	2	3	4	5	□
8) フーリエ解析・ラプラス変換の理解と計算	1	2	3	4	5	□	1	2	3	4	5	□

6

2.機械

	学部 卒業生				修士 修了者				博士 修了者			
	非期待 している	どちら もない	期待 しない	不足 を感じる	非期待 している	どちら もない	期待 しない	不足 を感じる	非期待 している	どちら もない	期待 しない	不足 を感じる
9) 確率過程および待ち行列理論の理解と計算												
10) 離散数学の基本的な概念の理解と活用												
11) システムの数学モデル化と具体的問題への適用												
12) 数値計算に関する基本的な解法の理解												
➤ 物理（13～17）												
13) 力学に関する基本的な概念、法則の理解と応用												
14) 電磁気学に関する法則などの理解と応用												
15) 熱・温度に関する法則などの理解と応用												
16) 特殊相対論と古典力学との相違点の理解												
17) 量子力学に関する基本的な概念の理解												
➤ 化学（18～22）												
18) 原子の構成に関する概念の理解												
19) 原子間の結びつきなどに関する概念の理解												
20) 化学反応に関する概念の理解と活用												

7

	学部 卒業生				修士 修了者				博士 修了者									
	非期待にしている	どちらでもない	期待しない	不足を感じる	非期待にしている	どちらでもない	期待しない	不足を感じる	非期待にしている	どちらでもない	期待しない	不足を感じる						
	▼	▼	▼		▼	▼	▼		▼	▼	▼							
21) 無機化合物と有機化合物の概念の理解と活用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
22) 物質の構造・性質、光の特徴に関する概念の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
➤ 情報リテラシー (23～25)																		
23) 情報の基本的な概念とコンピュータ処理の役割の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
24) 情報伝達の方法と社会的責任などの理解とインターネットの実践的使用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
25) プログラミング言語の理解と簡単なプログラムの作成	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
➤ 工学基礎 (26～28)																		
26) 機械工学・電子回路の基本的な概念の理解と活用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
27) 工学分野に共通した基礎原理を理解するための実験実施と報告書の作成	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
28) 数値計算の基礎知識とアルゴリズムの理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
● 「機械分野」専門科目 (29～44)																		
29) 材料力学、機械力学、流体力学、熱力学の4力学の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
30) 機械製図から機械要素や機械構造の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐

	学部 卒業生				修士 修了者				博士 修了者									
	非期待にしている	どちらでもない	期待しないで	不足を感じる	非期待にしている	どちらでもない	期待しないで	不足を感じる	非期待にしている	どちらでもない	期待しないで	不足を感じる						
	▼	▼	▼		▼	▼	▼		▼	▼	▼							
31) 機械要素や機械構造から機械製図面の作図	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
32) 機械要素の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
33) 加工生産工学の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
34) 制御メカトロニクスの理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
35) 先端科学材料の知識	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
36) 燃焼工学の理解と燃焼機械の知識	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
37) 伝熱工学の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
38) 3D-CAD ソフトウェアを用いた機械部品の描画	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
39) 機械工学の産業事例の知識	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
40) 医療機器の知識	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
41) マイクロデバイスの知識	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
42) エネルギーシステム、航空機、鉄道車両など具体的な機械システムの知識	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
43) ものづくりを主眼に置いたPBLの経験	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
44) 機械工学に関するベンチャー企業の経営マインド	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐

企業対象調査票-「建築」関連分野（問3-1）

3_建築

3. 工学系科目（「建築」関連分野）についてお聞きします

問3-1、3-2、3-3：この5年間で「学部卒業者」・「修士修了者」が合計5人以下、「博士修了者」が合計2人以下の場合、該当する列は答えただけで結構です。

問3-1 貴部門は、新卒者として受け入れている建築関連分野出身者に対して、どのような知識や能力を期待されていますか。また、とくに不足していると感じることはありますか。「学部卒業者」「修士修了者」「博士修了者」ごとにそれぞれお答えください。（○はそれぞれ一つ）

※ 該当者にとくに不足していると感じる知識・能力があれば、「不足を感じる」欄の□にチェックをつけてください。

	学部 卒業者				修士 修了者				博士 修了者									
	非期待 に して いる	ど い ち ら な い も	期 い 待 し て い る	不 足 を 感 じ る	非期待 に して いる	ど い ち ら な い も	期 い 待 し て い る	不 足 を 感 じ る	非期待 に して いる	ど い ち ら な い も	期 い 待 し て い る	不 足 を 感 じ る						
● 工学系共通基礎科目																		
➤ 基礎数学（1～4）																		
1) 微分積分の概念の理解と活用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
2) 線形代数の概念の理解と応用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
3) 常微分方程式に関する基本的な概念の理解と計算	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
4) 確率・統計の基本的な概念の理解と計算	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
➤ 専門指向型数学（5～9）																		
5) ベクトル・スカラーの概念の理解と計算	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
6) 複素数、複素平面などの概念の理解と計算	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
7) 偏微分方程式の概念と方程式の表す様々な物理現象の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐

6

3_建築

	学部 卒業者				修士 修了者				博士 修了者									
	非期待 に して いる	ど い ち ら な い も	期 い 待 し て い る	不 足 を 感 じ る	非期待 に して いる	ど い ち ら な い も	期 い 待 し て い る	不 足 を 感 じ る	非期待 に して いる	ど い ち ら な い も	期 い 待 し て い る	不 足 を 感 じ る						
8) フーリエ解析・ラプラス変換の理解と計算	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
9) 確率過程および待ち行列理論の理解と計算	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
➤ 物理（10、11）																		
10) 力学に関する基本的な概念、法則の理解と応用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
11) 電磁気学に関する法則などの理解と応用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
➤ 化学（12、13）																		
12) 原子の構成に関する概念の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
13) 化学反応に関する概念の理解と活用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
➤ 情報リテラシー（14～16）																		
14) 情報の基本的な概念とコンピュータ処理の役割の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
15) 情報伝達の概念と社会的責任などの理解とインターネットの実践的使用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
16) プログラミング言語の理解と簡単なプログラムの作成	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
➤ 工学基礎（17）																		
17) 機械工学・電子回路の基本的な概念の理解と活用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐

7

	学部 卒業者				修士 修了者				博士 修了者									
	非期待している	どちらとも	期待しないで	不足を感じる	非期待している	どちらとも	期待しないで	不足を感じる	非期待している	どちらとも	期待しないで	不足を感じる						
	▼	▼	▼		▼	▼	▼		▼	▼	▼							
● 「建築分野」専門科目 (18～37)																		
18) 基本計画図面の読解と説明	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
19) 基本計画図面の描画 (CAD を含む) と模型作成	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
20) 施工図面の読解と説明	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
21) 基本的な施設に関する建築計画の要点の説明	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
22) 都市の構造と当該建築計画の親和性の認識	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
23) 建築の歴史と当該建築計画の妥当性の認識	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
24) 採光、気流、温熱、音などの建築環境の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
25) 各種建築環境の要求に対する適切な計画立案	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
26) 建築設備計画の要点の把握と適切な計画立案	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
27) 静定構造物の構造力学の理解と応用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
28) 二層構造物の構造力学の理解と応用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐

	学部 卒業者				修士 修了者				博士 修了者							
	非期待 している	どちら とも	期 待 な い て	不 足 を 感 じ る	非期待 している	どちら とも	期 待 な い て	不 足 を 感 じ る	非期待 している	どちら とも	期 待 な い て	不 足 を 感 じ る				
	▼	▼	▼		▼	▼	▼		▼	▼	▼					
29) 許容応力度設計の意味の把握と構造計算過程の理解	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			
30) 鉄筋コンクリート造構造物の特徴の理解と配筋計画	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			
31) 鉄骨造構造物の特徴の理解と部材断面計算	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			
32) 基礎の種類ならびに構法の理解と説明	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			
33) 各種建築材料の特性の理解と説明	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			
34) 地震と地震動の特性の理解と構造物の振動	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			
35) 各種建築構法の特徴の把握と説明	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			
36) 建築施工に関わる各種関係者の役割の理解	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			
37) 建築法規の理解	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			

企業対象調査票-「土木」関連分野（問3-1）

4土木

3. 工学系科目（「土木」関連分野）についてお聞きします

問3-1、3-2、3-3：この5年間で「学部卒業者」・「修士修了者」が合計5人以下、「博士修了者」が合計2人以下の場合、該当する列はお答えいただくことなく結構です。

問3-1 貴部門は、新卒者として受け入れている土木関連分野出身者に対して、どのような知識や能力を期待されていますか。また、とくに不足していると感じることはありますか。「学部卒業者」「修士修了者」「博士修了者」ごとにそれぞれお答えください。（○はそれぞれ一つ）

※ 該当者にとくに不足していると感じる知識・能力があれば、「不足を感じる」欄の□にチェックをつけてください。

	学部 卒業者				修士 修了者				博士 修了者							
	非期待 している	どちら もない	期待 しない	不足 を感じる	非期待 している	どちら もない	期待 しない	不足 を感じる	非期待 している	どちら もない	期待 しない	不足 を感じる				
	▼	▼	▼		▼	▼	▼		▼	▼	▼					
● 工学系共通基礎科目																
➤ 基礎数学（1～4）																
1) 微分積分の概念の理解と活用	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			
2) 線形代数の概念の理解と応用	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			
3) 常微分方程式に関する基本的な概念の理解と計算	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			
4) 確率・統計の基本的な概念の理解と計算	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			
➤ 専門指向型数学（5～9）																
5) ベクトル・スカラーの概念の理解と計算	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			
6) 複素数、複素平面などの概念の理解と計算	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			
7) 偏微分方程式の概念と方程式の表す様々な物理現象の理解	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			

6

4土木

		学部 卒業者					修士 修了者					博士 修了者					
		非期待 に して いる	ど い ち ら と も	期 い 待 な い て	不 足 を 感 じ る		非期待 に して いる	ど い ち ら と も	期 い 待 な い て	不 足 を 感 じ る		非期待 に して いる	ど い ち ら と も	期 い 待 な い て	不 足 を 感 じ る		
		▼	▼	▼		▼	▼	▼		▼	▼	▼		▼	▼	▼	
8)	フーリエ解析・ラプラス変換の理解と計算	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			
9)	確率過程および待ち行列理論の理解と計算	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			
➤ 物理 (10, 11)																	
10)	力学に関する基本的な概念、法則の理解と応用	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			
11)	電磁気学に関する法則などの理解と応用	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			
➤ 化学 (12, 13)																	
12)	原子の構成に関する概念の理解	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			
13)	化学反応に関する概念の理解と活用	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			
➤ 情報リテラシー (14~16)																	
14)	情報の基本的な概念とコンピュータ処理の役割の理解	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			
15)	情報伝達の概念と社会的責任などの理解とインターネットの実践的使用	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			
16)	プログラミング言語の理解と簡単なプログラムの作成	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			
➤ 工学基礎 (17)																	
17)	機械工学・電子回路の基本的な概念の理解と活用	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5			

7

		学部 卒業者				修士 修了者				博士 修了者									
		非期待 している	どちら とも	期 待 しない て	不足を 感じる	非期待 している	どちら とも	期 待 しない て	不足を 感じる	非期待 している	どちら とも	期 待 しない て	不足を 感じる						
● 「土木分野」専門科目（18～37）																			
18)	コンクリートや鉄鋼の材料の特徴と特性に関する理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
19)	限界状態設計法と許容応力度設計法に対する理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
20)	曲げモーメントを受ける長方形断面のはり部材の終局限界状態設計	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
21)	品質管理、原価管理、工程管理、安全衛生管理、環境管理の仕組みの理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
22)	静定構造物を支える支点や対応する反力の理解と計算	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
23)	トラスに生じる部材応力の理解と断面設計	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
24)	橋梁の構成、種類およびその特徴の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
25)	橋梁の各種部材の設計法の理解と計算	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
26)	はりの有限変位理論と幾何学的非線形問題の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
27)	土の工学的分類の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐

		学部 卒業者					修士 修了者					博士 修了者							
		非期待 している	どちら とも	期 待 ない て	不 足 を 感 じ る		非期待 している	どちら とも	期 待 ない て	不 足 を 感 じ る		非期待 している	どちら とも	期 待 ない て	不 足 を 感 じ る				
		▼	▼	▼			▼	▼	▼			▼	▼	▼					
28)	構造物に作用する土圧や地震時の土圧の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
29)	半無限斜面の安定解析や円弧すべり機構を仮定した安定解析	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
30)	ベルヌーイの定理の理解と計算	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
31)	開水路における非定常流の基礎方程式の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
32)	三角測量の原理と三角網の種類の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
33)	土木構造物の製図に必要な図法と規約の理解と描画	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
34)	地域・都市交通計画の基本概念についての理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
35)	交通流、交通量の特性、交通容量の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
36)	下水道の計画、構成の理解と計算	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
37)	環境影響評価の目的と現状の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐

企業対象調査票-「化学・材料」関連分野（問3-1）

5_化学・材料

3. 工学系科目（「化学・材料」関連分野）についてお聞きします

問3-1、3-2、3-3：この5年間で「学部卒業生」「修士修了生」が合計5人以下、「博士修了生」が合計2人以下の場合、該当する列は答えただけで結構です。

問3-1 貴部門は、新卒者として受け入れている化学・材料関連分野出身者に対して、どのような知識や能力を期待されていますか。また、とくに不足していると感じることはありますか。「学部卒業生」「修士修了生」「博士修了生」ごとにそれぞれお答えください。（○はそれぞれ一つ）

※ 該当者にとくに不足していると感じる知識・能力があれば、「不足を感じる」欄の□にチェックをつけてください。

	学部 卒業生				修士 修了生				博士 修了生									
	非期待 している	どちら もない	期待 している	不足 を感じる	非期待 している	どちら もない	期待 している	不足 を感じる	非期待 している	どちら もない	期待 している	不足 を感じる						
● 工学系共通基礎科目																		
➢ 基礎数学（1～4）																		
1) 微分積分の概念の理解と活用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
2) 線形代数の概念の理解と応用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
3) 常微分方程式に関する基本的な概念の理解と計算	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
4) 確率・統計の基本的な概念の理解と計算	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
➢ 専門指向型数学（5～8）																		
5) ベクトル・スカラーの概念の理解と計算	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
6) 複素数、複素平面などの概念の理解と計算	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
7) 偏微分方程式の概念と方程式の表す様々な物理現象の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
8) フーリエ解析・ラプラス変換の理解と計算	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐

6

5_化学・材料

	学部 卒業生				修士 修了生				博士 修了生									
	非期待 している	どちら もない	期待 している	不足 を感じる	非期待 している	どちら もない	期待 している	不足 を感じる	非期待 している	どちら もない	期待 している	不足 を感じる						
➢ 物理（9～12）																		
9) 力学に関する基本的な概念、法則の理解と応用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
10) 電磁気学に関する法則などの理解と応用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
11) 熱・温度に関する法則などの理解と応用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
12) 量子力学に関する基本的な概念の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
➢ 情報リテラシー（13～15）																		
13) 情報の基本的な概念とコンピュータ処理の役割の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
14) 情報伝達の概念と社会的責任などの理解とインターネットの実践的使用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
15) プログラミング言語の理解と簡単なプログラムの作成	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
➢ 工学基礎（16～18）																		
16) 機械工学・電子回路の基本的な概念の理解と活用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
17) 工学分野に共通した基礎原理を理解するための実験実施と報告書の作成	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
18) 数値計算の基礎知識とアルゴリズムの理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐

7

	学部 卒業者				修士 修了者				博士 修了者			
	非期待している	どちらでもない	期待しない	不足を感じる	非期待している	どちらでもない	期待しない	不足を感じる	非期待している	どちらでもない	期待しない	不足を感じる
	▼	▼	▼		▼	▼	▼		▼	▼	▼	
● 「化学・材料分野」専門科目（19～29）												
19) 有機化学：構造と結合、官能基と化学的性質の理解、問題解決への適用	1－2－3－4－5				1－2－3－4－5				1－2－3－4－5			
20) 無機化学：元素・周期表・化学的性質の理解の体系的な理解、問題解決への適用	1－2－3－4－5				1－2－3－4－5				1－2－3－4－5			
21) 物理化学：熱力学、化学平衡、相変化、状態方程式、分子間力、結晶構造、界面現象の理解、問題解決への適用	1－2－3－4－5				1－2－3－4－5				1－2－3－4－5			
22) 分析化学：酸塩基反応、錯形成反応、沈殿反応等に基づく定量法、基礎的な機器分析法の体系的な理解、問題解決への適用	1－2－3－4－5				1－2－3－4－5				1－2－3－4－5			
23) 化学工学：物質・エネルギーの収支計算、流体の流動・混合状態、伝熱・分離操作原理の体系的な理解、問題解決への適用	1－2－3－4－5				1－2－3－4－5				1－2－3－4－5			
24) 反応工学：反応速度の定量的解析法、反応装置の設計と操作法の体系的な理解、問題解決への適用	1－2－3－4－5				1－2－3－4－5				1－2－3－4－5			
25) 高分子化学、薬化学、生化学：各分野の基礎知識、それらの問題解決への利用	1－2－3－4－5				1－2－3－4－5				1－2－3－4－5			
26) 材料化学、電気化学：各分野の基礎知識、それらの課題解決への利用	1－2－3－4－5				1－2－3－4－5				1－2－3－4－5			
27) 光化学、界面化学：各分野の基礎知識、それらの課題解決への利用	1－2－3－4－5				1－2－3－4－5				1－2－3－4－5			
28) 化学熱力学、移動現象論、分離工学：各分野の基礎知識、それらの課題解決への利用	1－2－3－4－5				1－2－3－4－5				1－2－3－4－5			
29) エネルギー工学、プロセスシステム工学：各分野の基礎知識、それらの課題解決への利用	1－2－3－4－5				1－2－3－4－5				1－2－3－4－5			

企業対象調査票-「情報・通信」関連分野（問3-1）

6. 情報・通信

3. 工学系科目（「情報・通信」関連分野）についてお聞きします

問3-1、3-2、3-3：この5年間で「学部卒業生」「修士修了生」が合計5人以下、「博士修了生」が合計2人以下の場合、該当する列は答えただけで結構です。

問3-1 貴部門は、新卒者として受け入れている情報・通信関連分野出身者に対して、どのような知識や能力を期待されていますか。また、とくに不足していると感じることはありますか。「学部卒業生」「修士修了生」「博士修了生」ごとにそれぞれお答えください。（○はそれぞれ一つ）

※ 該当者にとくに不足していると感じる知識・能力があれば、「不足を感じる」欄の□にチェックをつけてください。

	学部 卒業生				修士 修了生				博士 修了生									
	非期待 している	どちら もない	期待 している	不足 を感じる	非期待 している	どちら もない	期待 している	不足 を感じる	非期待 している	どちら もない	期待 している	不足 を感じる						
● 工学系共通基礎科目																		
➢ 基礎数学（1～3）																		
1) 微分積分の概念の理解と活用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
2) 線形代数の概念の理解と応用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
3) 常微分方程式に関する基本的な概念の理解と計算	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
➢ 専門指向型数学（4～7）																		
4) ベクトル・スカラーの概念の理解と計算	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
5) 偏微分方程式の概念と方程式の表す様々な物理現象の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
6) フーリエ解析・ラプラス変換の理解と計算	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
7) 数値計算に関する基本的な解法の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐

6

6. 情報・通信

	学部 卒業生				修士 修了生				博士 修了生									
	非期待 している	どちら もない	期待 している	不足 を感じる	非期待 している	どちら もない	期待 している	不足 を感じる	非期待 している	どちら もない	期待 している	不足 を感じる						
➢ 物理（8～11）																		
8) 力学に関する基本的な概念、法則の理解と応用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
9) 電磁気学に関する法則などの理解と応用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
10) 熱・温度に関する法則などの理解と応用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
11) 量子力学に関する基本的な概念の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
➢ 化学（12）																		
12) 原子の構成に関する概念の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
➢ 情報リテラシー（13）																		
13) 情報伝達の概念と社会的責任などの理解とインターネットの実践的使用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
➢ 工学基礎（14）																		
14) 工学分野に共通した基礎原理を理解するための実験実施と報告書の作成	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐

7

	学部 卒業者				修士 修了者				博士 修了者			
	非期待 している	どちら でもない	期待 しない	不足を 感じる	非期待 している	どちら でもない	期待 しない	不足を 感じる	非期待 している	どちら でもない	期待 しない	不足を 感じる
▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
● 「情報・通信分野」専門科目 (15～34)												
15) 各種オートマトン・形式言語の定義や概念	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
16) 情報伝送の基礎理論 (情報量の定義、情報源/通信路符号化)	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
17) 通信路符号化の基礎理論 (ブロック符号、巡回符号、畳み込み符号)	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
18) 回路理論 (直流/交流回路の性質、各種定理、定常/過渡現象解析)	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
19) 信号処理の基礎理論 (信号解析法、変復調方式、符号間干渉)	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
20) オペレーションズ・リサーチ (線形/非線形/整数計画法、グラフ理論、待ち行列理論)	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
21) 確率論・確率過程、統計学、時系列解析	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
22) 基本データ構造 (配列、リスト、スタックなど) と操作技術 (ヒープ、ソーティングなど)	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
23) 手続き型言語 (C など) によるプログラム作成	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
24) オブジェクト指向型言語 (Java など) によるプログラム作成	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐

	学部 卒業者				修士 修了者				博士 修了者			
	非期待 している	どちら でもない	期待 しない	不足を 感じる	非期待 している	どちら でもない	期待 しない	不足を 感じる	非期待 している	どちら でもない	期待 しない	不足を 感じる
▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
25) スクリプト言語 (Perl, Python など) によるプログラム作成	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
26) マークアップ言語 (HTML など) によるプログラム作成	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
27) ソケット通信とネットワークプログラミング	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
28) コンピュータの基本的な原理、構造、動作	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
29) オペレーティングシステムの種類と特徴、代表的な機能	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
30) コンピュータネットワークの基本プロトコル (TCP/IP)	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
31) 無線通信システム、光通信システムの構成と仕組み	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
32) マルチメディア技術 (音声/画像符号化、CG など)	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
33) 情報セキュリティの概念と関連する基礎理論 (暗号、認証)	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
34) ネットワークセキュリティ対策技術と運用能力	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐

企業対象調査票-「バイオ」関連分野（問3-1）

7_バイオ

3. 工学系科目（「バイオ」関連分野）についてお聞きします

問3-1、3-2、3-3：この5年間で「学部卒業者」「修士修了者」が合計5人以下、「博士修了者」が合計2人以下の場合、該当する列はお答えいただかなくて結構です。

問3-1 貴部門は、新卒者として受け入れているバイオ関連分野出身者に対して、どのような知識や能力を期待されていますか。また、とくに不足していると感じることはありますか。「学部卒業者」「修士修了者」「博士修了者」ごとにそれぞれお答えください。（○はそれぞれ一つ）

※ 該当者にとくに不足していると感じる知識・能力があれば、「不足を感じる」欄の□にチェックをつけてください。

	学部 卒業者				修士 修了者				博士 修了者			
	非期待 している	どちら もない も	期待 してい て	不足 を感じ る	非期待 してい る	どちら もない も	期待 してい て	不足 を感じ る	非期待 してい る	どちら もない も	期待 してい て	不足 を感じ る
	▼	▼	▼		▼	▼	▼		▼	▼	▼	
● 工学系共通基礎科目												
➤ 基礎数学（1～4）												
1) 微分積分の概念の理解と活用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
2) 線形代数の概念の理解と応用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
3) 常微分方程式に関する基本的な概念の理解と計算	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
4) 確率・統計の基本的な概念の理解と計算	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
➤ 専門指向型数学（5）												
5) ベクトル・スカラーの概念の理解と計算	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
➤ 物理（6～8）												
6) 力学に関する基本的な概念、法則の理解と応用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
7) 電磁気学に関する法則などの理解と応用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐

6

7_バイオ

	学部 卒業者				修士 修了者				博士 修了者									
	非期待 している	どちら もない	期待 してい て	不足 を感じ る	非期待 している	どちら もない	期待 してい て	不足 を感じ る	非期待 している	どちら もない	期待 してい て	不足 を感じ る						
	▼	▼	▼		▼	▼	▼		▼	▼	▼							
8) 熱・温度に関する法則などの理解と応用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
➤ 情報リテラシー (9～11)																		
9) 情報の基本的な概念とコンピュータ処理の役割の理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
10) 情報伝達の概念と社会的責任などの理解とインターネットの実践的使用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
11) プログラミング言語の理解と簡単なプログラムの作成	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
➤ 工学基礎 (12～14)																		
12) 機械工学・電子回路の基本的な概念の理解と活用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
13) 工学分野に共通した基礎原理を理解するための実験実施と報告書の作成	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
14) 数値計算の基礎知識とアルゴリズムの理解	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
● 「バイオ分野」専門科目 (15～29)																		
15) 有機化学：構造と結合、官能基と化学的性質の 関係の理解、問題解決への適用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐
16) 無機化学：元素・周期表・化学的性質の 関係の体系的な理解、問題解決への適用	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐	1	2	3	4	5	☐

7

		学部 卒業者				修士 修了者				博士 修了者						
		非期待 に して いる	ど い ち ら と い も	期 待 な い て	不 足 を 感 じ る	非期待 に して いる	ど い ち ら と い も	期 待 な い て	不 足 を 感 じ る	非期待 に して いる	ど い ち ら と い も	期 待 な い て	不 足 を 感 じ る			
		▼	▼	▼		▼	▼	▼		▼	▼	▼				
17)	物理化学：熱力学、化学平衡、相変化、状態方程式、分子間力、結晶構造、界面現象の理解、問題解決への適用	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5		
18)	生化学：生命を構成する物質の特性と、生命における物質・エネルギー代謝の基本的原理の理解、問題解決への適用	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5		
19)	分子生物学：遺伝子の転写・翻訳、組換え、発現制御機構（原核生物）、解析技術の基礎の理解、問題解決への適用	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5		
20)	細胞・微生物学：生物の分類、細胞の増殖・分化・情報伝達、微生物培養等に関わる基礎の理解、問題解決への適用	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5		
21)	生物化学工学：バイオ化学プロセスの収支計算、伝熱・分離操作、リアクターの設計・制御、酵素利用に関わる基礎の理解、問題解決への適用	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5		
22)	高分子化学、薬化学：各分野の基礎知識、それらの問題解決への適用	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5		
23)	材料化学、電気化学：各分野の基礎知識、それらの課題解決への利用	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5		
24)	光化学、界面化学：各分野の基礎知識、それらの課題解決への利用	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5		

		学部 卒業者				修士 修了者				博士 修了者					
		非期待 している	どちら もない	期 待 しない	不足 を感じ る	非期待 している	どちら もない	期 待 しない	不足 を感じ る	非期待 している	どちら もない	期 待 しない	不足 を感じ る		
		▼	▼	▼		▼	▼	▼		▼	▼	▼			
25)	環境化学、分析実験技術：各分野の基礎知識、それらの課題解決への利用	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5	
26)	分子生物学、細胞工学、遺伝子工学：各分野の基礎知識、それらの課題解決への利用	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5	
27)	タンパク質工学：真核生物の遺伝子発現制御機構、遺伝子組換えによるタンパク質生産技術、種々の遺伝子解析技術の理解、それらの課題解決への利用	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5	
28)	細胞・微生物学の分子論的理解：微生物多様性、動植物細胞の構造、細胞内物質移動、細胞の増殖・分化・情報伝達等を分子論的な理解、それらの課題解決への利用	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5	
29)	バイオリアクター、酵素工学、バイオセパレーション：各分野の基礎知識、それらの課題解決への利用	1	2	3	4	5				1	2	3	4	5	

調査票発送封筒：
【大学対象】

外封筒：

重要

至急

「工学分野における理工系人材育成の在り方に関する調査研究」アンケート調査票在中

文部科学省では、産業界のニーズを把握した上で、社会が求める理工系人材育成の在り方を求めるために、全国の理工系大学の実態を把握するためのアンケート調査を実施することになりました。
何卒ご協力を宜しくお願いいたします。

文部科学省「理工系プロフェッショナル教育推進委託事業」
工学分野における理工系人材育成の在り方に関する調査研究実行委員会

〒263-8522
千葉市稲毛区外生町 1-33
千葉大学大学院工学研究科調査研究事業推進室
電話：043-290-3067
メール：kougaku-jinzai@chiba-u.jp

 文部科学省

内封筒：

〇〇分野関連学科・専攻の先生にお渡しください

ご回答いただく項目が多い調査票です。
ご回答期限まであまり余裕がありませんので、急いでお渡しいただけますようお願いいたします。

重要

至急

「工学分野における理工系人材育成の在り方に関する調査研究」アンケート調査票在中

文部科学省では、産業界のニーズを把握した上で、社会が求める理工系人材育成の在り方を求めるために、全国の理工系大学の実態を把握するためのアンケート調査を実施することになりました。
何卒ご協力を宜しくお願いいたします。

文部科学省「理工系プロフェッショナル教育推進委託事業」
工学分野における理工系人材育成の在り方に関する調査研究実行委員会

〒263-8522
千葉市稲毛区外生町 1-33
千葉大学大学院工学研究科調査研究事業推進室
電話：043-290-3067
メール：kougaku-jinzai@chiba-u.jp

 文部科学省

【企業対象】

「電気・電子」関連分野の例：

重要	至急	 文部科学省
「工学分野における理工系人材育成の在り方に関する調査研究」アンケート調査票在中 「電気・電子」関連分野		
文部科学省「理工系プロフェッショナル教育推進委託事業」の一環としてのアンケート調査で、理工系新卒者の受入れ企業（約 10,000 社）を対象としています。 何卒ご協力を宜しくお願いいたします。		
主な調査内容 ● <u>電気・電子関連分野出身の新卒者への期待と評価</u>（専門知識・能力等への期待、不足と感じていること、約 5～10 年前の新卒者との比較など） ● <u>産学連携に関する実績・ご意向、今後の産業界に必要な人材へのお考え</u> 他		
<u>これらにお答えいただくのに適任と思われる技術部門の方に</u> この封筒をお渡してください。		
➤ まことに勝手ではございますが、 <u>1月15日（金）まで</u> にご回答ください。		
文部科学省「理工系プロフェッショナル教育推進委託事業」		
受託機関：千葉大学「工学分野における理工系人材育成の在り方に関する調査研究実行委員会」 〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33		
返送先：一般社団法人 新情報センター 企画部 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-19-15 ウノサワ東急ビル 1 階		

御礼兼催促はがき：

【大学対象】

「工学分野における理工系人材育成の在り方に関する調査研究」 アンケート調査のご協力のお礼とお願い

拝啓 時下ますますご清祥のことと存じます。

文部科学省では、我が国の持続的な発展のためにはイノベーションを担う理工系人材の育成が重要であるという認識のもと、理工系人材育成の在り方に関する調査・研究を行っています。これを受け、千葉大学では、全国の理工系大学(175大学)を対象に、12月9日に調査票を郵送させていただきました。

すでに調査票をご返送いただきました方々には、あらためて深く御礼申し上げます。

もし、まだご返送いただいていない場合、再度のお願いで恐縮ですが、ぜひともご協力いただけますよう、あらためてお願い申し上げます。

ご回答にお時間がかかる場合、12月25日(金)までにご回答いただき、ポストにご投函いただければ幸いです。

年末のお忙しいところ大変恐縮ですが、本調査へのご理解・ご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

敬具

平成 27 年 12 月 18 日



【企業対象】

「工学分野における理工系人材育成の在り方に関する調査研究」 アンケート調査のご協力のお礼とお願い

拝啓 時下ますますご清祥のことと存じます。

文部科学省では、我が国の持続的な発展のためにはイノベーションを担う理工系人材の育成が重要であるという認識のもと、理工系人材育成の在り方に関する調査・研究を行っています。これを受け、千葉大学では、理工系新卒者の受入れ企業(約 10,000 社)を対象に、1月5日に調査票を郵送させていただきました。

すでに調査票をご返送いただきました方々には、あらためて深く御礼申し上げます。

もし、まだご返送いただいていない場合、再度のお願いで恐縮ですが、ぜひともご協力いただけますよう、あらためてお願い申し上げます。

ご回答にお時間がかかる場合、1月22日(金)までにご回答いただき、ポストにご投函いただければ幸いです。

年明け早々、ご多用中大変恐縮ですが、本調査へのご理解・ご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

敬具

平成 28 年 1 月 15 日



調査票依頼文【大学対象】:

事 務 連 絡

平成 27 年 12 月 9 日

各国公私立大学御担当者 殿

文部科学省高等教育局専門教育課

平成 27 年度「理工系プロフェッショナル教育推進委託事業」に関する調査の実施について（依頼）

各大学におかれましては、平素より高等教育の振興等に御理解と御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

少子高齢化により、生産年齢人口が減少する中で、今後とも我が国の持続的な発展のためには、イノベーションを担う理工系人材の育成が重要です。高等教育においては、学究的な専門性の追求のみならず、高度の技術開発やグローバルな経営を担うために必要な質の高い職業能力を身につけさせることが求められています。

これらを踏まえ文部科学省では、理工系大学・大学院におけるプロフェッショナル教育を推進するため、平成 27 年度「理工系プロフェッショナル教育推進委託事業」を工学分野における理工系人材育成の在り方に関する調査・研究として国立大学法人千葉大学に委託し実施します。

つきましては、各大学におかれましては、御多忙中のこととは存じますが、本調査の趣旨を御理解いただき、是非御協力を賜りますよう、よろしくお願いします。

なお、本調査の委託先である千葉大学は、調査した事項の秘密の厳守及び当該調査以外への使用禁止についての義務を有していることを申し添えます。

平成 27 年 12 月

研究科長、学部長 殿

文部科学省「理工系プロフェッショナル教育推進委託事業」
工学分野における理工系人材育成の在り方に関する調査研究実行委員会

千葉大学大学院工学研究科 調査研究事業推進室

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33

電話：043-290-3067

メール：kougaku-jinzai@chiba-u.jp

「工学分野における理工系人材育成の在り方に関する調査研究」 アンケート調査へのご協力のお願い

拝啓 ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

文部科学省では、イノベーションを担う理工系人材の育成が重要であるという認識のもと、理工系人材育成の在り方に関する調査・研究を行っています。これを受け、このたび、千葉大学では、全国の理工系大学（175 大学）と理工系新卒者の受入れ企業（約 10,000 社）を対象としたアンケート調査を実施することになりました。

貴大学も本調査の対象とさせていただいており、先日ご案内のはがきをお送りした次第です。調査票は、「電気・電子」「機械」「建築」「土木」「化学・材料」「情報・通信」「バイオ」の 7 分野に分かれており、該当関連分野の学科長・専攻長等にそれぞれお答えいただきたいと考えております。

つきましては、同封の調査票入り内封筒を、各関連分野の学科長・専攻長等または教務担当の教員の先生に至急お渡しいただきたく、お願い申し上げます。

ご回答の期限は 12 月 18 日（金） にさせていただいております。ご回答いただく項目が多い上にお時間が少なく大変恐縮ですが、ご理解をいただければ幸甚です。

なお、お答えいただいた内容は、大学名が特定できない形で処理いたしますので、ご迷惑をおかけすることはございません。ご記入後の調査票は、各分野別の内封筒に同封した返信用封筒（切手不要）にて、ご回答いただいた先生方より直接ポストにご投函いただきたくお願い申し上げます。

調査結果は、企業対象の調査結果と合わせて、みなさまにご覧いただけるよう、来年度、千葉大学の web サイトにて公表する予定であります。

年の暮れ、ご多忙の折に大変恐縮ですが、本調査へのご理解・ご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

敬具

調査票依頼文【企業対象】:

事 務 連 絡

平成 28 年 1 月 4 日

貴社 技術部門担当者 殿

文部科学省高等教育局専門教育課

平成 27 年度「理工系プロフェッショナル教育推進委託事業」に関する調査の実施について（依頼）

平素より大学教育の振興等に御理解と御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

少子高齢化により、生産年齢人口が減少する中で、今後とも我が国の持続的な発展のためには、イノベーションを担う理工系人材の育成が重要です。高等教育においては、学究的な専門性の追求のみならず、高度の技術開発やグローバルな経営を担うために必要な質の高い職業能力を身につけさせることが求められています。

これらを踏まえ文部科学省では、理工系大学・大学院におけるプロフェッショナル教育を推進するため、平成 27 年度「理工系プロフェッショナル教育推進委託事業」を工学分野における理工系人材育成の在り方に関する調査・研究として国立大学法人千葉大学に委託し実施します。

本調査は、全国の約 10,000 社の企業を対象として、機械、電気・電子、建築、土木、化学、バイオ、情報・通信の各専門分野に関連する内容をお聞きするものです。各企業の担当部署に置かれましては、本調査の趣旨を御理解の上、御協力下さいますようお願いいたします。

なお、本調査の委託先である千葉大学は、調査した事項の秘密の厳守及び当該調査以外への使用禁止についての義務を有していることを申し添えます。

平成 28 年 1 月

貴社 技術部門 ご担当者 様

文部科学省「理工系プロフェッショナル教育推進委託事業」
工学分野における理工系人材育成の在り方に関する調査研究実行委員会

千葉大学大学院工学研究科 調査研究事業推進室

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33

電話：043-290-3067

メール：kougaku-jinzai@chiba-u.jp

「工学分野における理工系人材育成の在り方に関する調査研究」 アンケート調査へのご協力をお願い

拝啓 ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

文部科学省では、イノベーションを担う理工系人材の育成が重要であるという認識のもと、理工系人材育成の在り方に関する調査研究を行っています。これを受け、このたび、千葉大学では、全国の理工系新卒者受入れ企業（従業員 100 人以上／約 10,000 社）と全国の理工系大学（175 大学）を対象としたアンケート調査を実施することになりました。

貴社技術部門も本調査の対象とさせていただいております。理工系新卒者を受け入れている技術部門の方にお答えいただきたく、お願い申し上げる次第です。

調査票冒頭に記したとおり、本調査の調査票は、「電気・電子」「機械」「建築」「土木」「化学・材料」「情報・通信」「バイオ」の 7 分野に分かれており、各社への分野の割り当ては、総務省の日本標準産業分類を元に行いました。もし、貴部門が実際に取り組んでおられる主な分野とまったく関連しない分野の調査票をお送りしてしまっている場合は、どうぞご容赦ください。各分野に特有の設問は問 3-1 の一部のみですので、この設問以外についてお答えいただければ幸いです。

ご回答の期限は 1 月 15 日（金） です。ご回答いただく項目が多い上にお時間が少なく大変恐縮ですが、ご理解をいただければ幸いです。

なお、お答えいただいた内容は、企業名・部門名が特定できない形で処理いたしますので、ご迷惑をおかけすることはございません。ご記入後の調査票は、同封した封筒（切手不要）にて、直接ポストにご投函いただきたくお願い申し上げます。

調査結果は、大学対象の調査結果と合わせて、みなさまにご覧いただけるよう、来年度、千葉大学の web サイトにて公表する予定であります。

ご多忙の折に大変恐縮ですが、本調査へのご理解・ご協力を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

敬具